

むかいしま ゆた しぜん い 『向島の豊かな自然と生きもの』

だい くさ むし 第41回 臭い虫!? カメムシ

にお おいのする虫はカメムシのほかにもあり、それぞれにそれなりに匂う。
ですが、身近な「匂う虫」はやっぱりカメムシ! この匂いで天敵から身を守っているらしい
のだが…実際はどうなんでしょうか?

「どうなんだろうか」とあらためて考えてみなくとも、この匂いは臭いと嫌われ、カメム
シなどをうつとりと見つめる人は超少ない! ほとんどいない!? 見つけてつぶしてしまう
とよけいに臭い!! (そもそも、たとえ匂いは無くても「虫を集める人」が少ないので…)
ということは、結果的には「カメムシは匂いで身を守っている」と言える。少なくとも多く
に人に嫌われている。では、自然界ではどうなんでしょうか!? 今度、カエルの飼育ケースの中
に放り込んで実験してみるとしよう。

そんな臭い匂いのするカメムシだが、実は、昆虫収集家の中には「カメムシ愛好家」は結構
いるらしい。カメムシの仲間は種類も多く、よく見てみると非常に美しい種もあり、また
農業害虫でもあるので研究も進んでいる。むしろ、皆に嫌われる虫だからこそファンも
いるし、研究すればするほど人々の役に立つのだ!!

そして、世の中には「カメムシの匂いが好き」という人もいる。私も、虫集めをしている
うちにこの匂いが気にならなくなってしまった。

向島の中ではチョウの新発見はなかなか難しいが、カメムシは種類も多いので、まだま
だ未採集のカメムシがゴロゴロと見つかる気がする。

さて、そんなカメムシはどんな虫?!

国内には約2,000種がいる。コウチュウ目(カブトムシなど)6,000種、チョウ目6,000種、
ハエ目5,400種、ハチ目4,500種に次いで大きなグループである。

カメムシは植物の汁を吸うもの、肉食性のもの、水中生活するものもある。
カメムシの仲間には、セミやタガメ、アメンボ、アワフキ、ヨコバイ、アブラムシ、トコジ
ラミなど米や野菜作りの害虫も多い。

また、子育てをする虫でもあり、葉上に産んだ卵を親が覆いかぶさり天敵や乾燥から守る
事で知られている。「子育て」すると聞いただけで胸がキューンとする♡

コオイムシなどはメスがオスの背中に卵を産み付け、ふ化までオスがずっと守るのである!
(オスはそのことを理解しているのかどうか…それは不明である)

今回の標本は、カメムシの仲間をさらに「科」ごとに分けてみました。
～ 花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ～
つるかめクラブ